



## 概要

マイカーの普及や人口減少・少子高齢化などにより、公共交通（鉄道、バス、タクシーなど）の利用者が減少し、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の低下が生じてきています。一方で、高齢化の進行により公共交通機関に頼らざるを得ない市民の増加が予想され、公共交通の維持・確保の必要性が増していることから、深川市においては、バス路線の市内線をはじめとする赤字路線への財政的支援や高齢者バス利用料金助成事業に取り組んできました。また、これまでの公共交通は、民間事業者を中心に路線網の整備などがなされてきましたが、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正によりこの枠組みが見直され、今後は、地方公共団体が中心となってまちづくりと連携し、面的な交通ネットワークを再構築するとしています。このため、こうした法改正の趣旨を十分に踏まえ、持続可能な公共交通体系の構築を目指し、「深川市地域公共交通網形成計画」を策定します。

## ○地域公共交通の現況

- ・JR函館本線（深川駅、納内駅） ・JR留萌本線（北一已駅）
- ・空知中央バス(株)（市内4路線、市外5路線） ・北海道中央バス(株)（市外2路線）
- ・ジェイ・アール北海道バス(株)（市外1路線） ・沿岸バス(株)及び道北バス(株)（市外1路線）
- ・スクールバス（9路線） ・タクシー（4社） ・自家用有償運送（福祉型1社）

## ○地域公共交通の課題

- ・路線バスの利用者数の減少  
（財政的負担の増大、サービス水準の低下、利用者減に歯止めをかける対策が必要）
- ・高齢化の進行と生活交通ネットワークの形成  
（人口の集積地区と高齢化が著しい地区を結ぶ生活交通ネットワークの形成が必要）

## ○調査の主な内容

- ・公共交通現況調査（既存資料の収集整理、既存公共交通のルートや運行状況整理）
- ・交通ニーズ把握調査（市民アンケート調査、事業者ヒアリング調査）
- ・路線網再編実証運行調査（循環線の新設運行、既存路線の延長運行）

## ○地域公共交通活性化協議会開催状況

平成27年9月18日 第1回協議会を開催

- ・会長の選任等、交通ニーズ把握調査について、実証運行調査について

平成27年12月25日 第2回協議会を開催

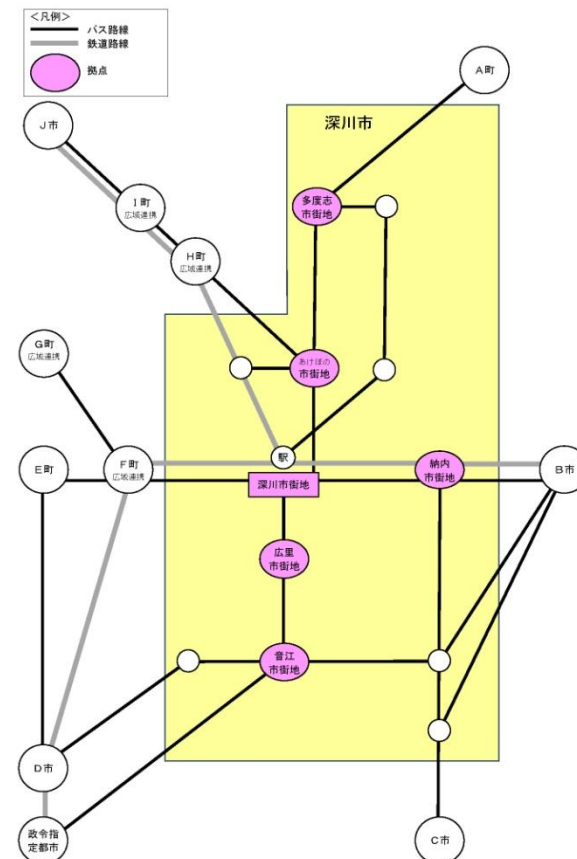
- ・交通ニーズ把握調査及び実証運行調査結果報告、公共交通網形成計画の骨子について

平成28年2月23日 第3回協議会を開催（予定）

- ・深川市地域公共交通網形成計画（案）について

※H26.7からH27.7の間、前組織の「深川市地域公共交通会議」において会議を5回開催し、公共交通のあり方に関する検討を行っています。

深川市の公共交通（路線バス、鉄道）の現況



# 深川市地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●事業の結果概要

- ・現況調査により、既存資料の収集・整理、地理的条件や人口分布・施設立地など地域特性を把握整理、既存公共交通のルートや運行状況の整理を行った。
- ・交通ニーズ把握調査として、市民千人を対象としたアンケートを実施し、外出の状況や公共交通の利用状況、これからの公共交通施策の方向性の意見などを把握することができた。また、事業者ヒアリング調査を実施し、公共交通の運行状況や課題を把握することができた。
- ・路線網再編実証運行調査として、既存路線を再編した「循環線」の新設と既存路線（「西北星線」）を高校まで延長する2路線の実証運行を実施し、利用状況や採算性を把握することができた。
- ・これらの調査により、課題等を把握し、公共交通に関する基本的な方針を検討、形成計画骨子を作成し、協議会において協議を行った。

## ●事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施された。

## ●地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針

当協議会の検討・協議を経て、市では「深川市地域公共交通網形成計画」を平成28年3月を目途に取りまとめる予定である。  
平成28年度は、地域公共交通再編推進事業により、市内路線バスの路線網の再編の具現化に向けた検討、地域間幹線系統路線の維持・確保に向けた広域協議、公共交通空白地域におけるデマンド乗合タクシー等の導入検討などを予定している。  
その後は、地域公共交通再編実施計画による特例の活用による、生活交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）の活用などを予定している。

## ●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄